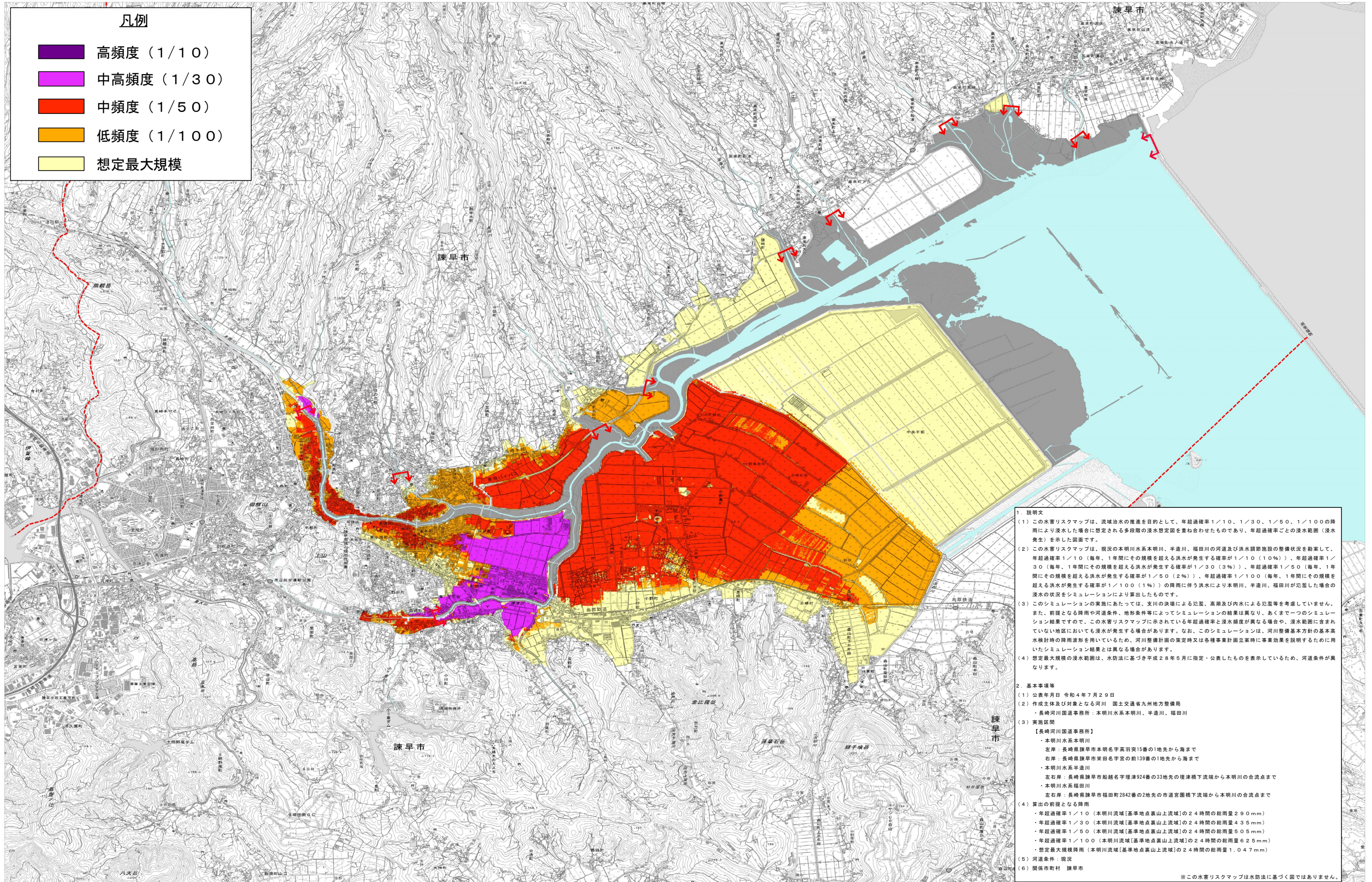


本明川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

【現況河道】

暫定版

浸水が想定される範囲を表示



本明川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

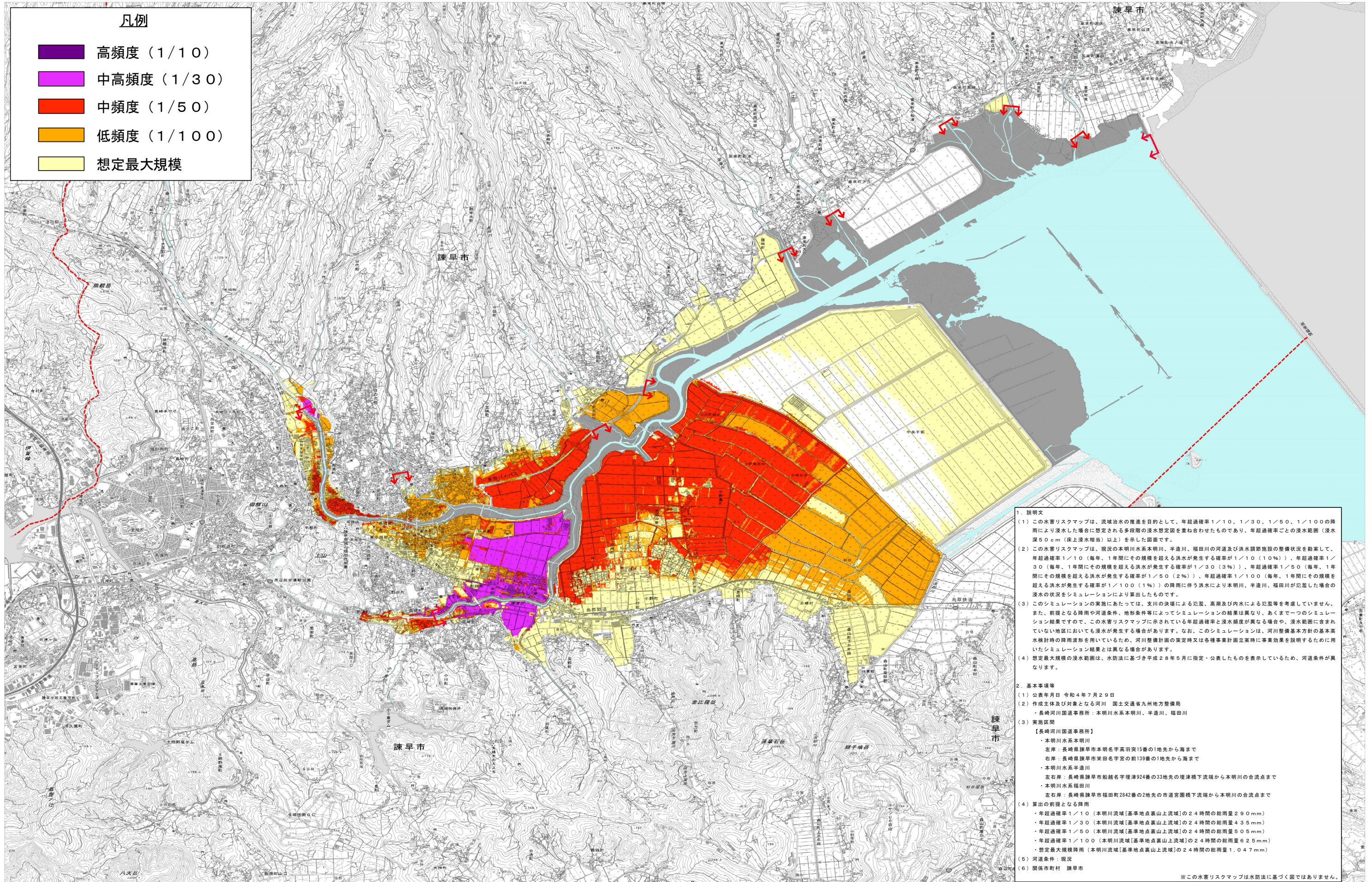
【現況河道】

浸水深50cm(床上浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

暫定版

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 低頻度 (1/100)
- 想定最大規模



1. 説明文
 (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。
 (2) この水害リスクマップは、現況の本明川水系本明川、半道川、福田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%)、年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3%)、年超過確率1/50(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50(2%)、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により本明川、半道川、福田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
 (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
 (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
 2. 基本事項等
 (1) 公表年月日 令和4年7月29日
 (2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
 ・長崎河川国道事務所：本明川水系本明川、半道川、福田川
 (3) 実施区間
 【長崎河川国道事務所】
 ・本明川水系本明川
 左岸：長崎県諫早市本明名宇高羽突15番の1地先から海まで
 右岸：長崎県諫早市栄田名宇宮の前139番の1地先から海まで
 ・本明川水系半道川
 左右岸：長崎県諫早市船越名宇埋津924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
 ・本明川水系福田川
 左右岸：長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで
 (4) 算出の前提となる降雨
 ・年超過確率1/10(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量290mm)
 ・年超過確率1/30(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量435mm)
 ・年超過確率1/50(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量605mm)
 ・年超過確率1/100(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量625mm)
 ・想定最大規模降雨(本明川流域[基準地点裏山上流域]の24時間の総雨量1,047mm)
 (5) 河道条件：現況
 (6) 関係市町村 諫早市
 ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

本明川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ

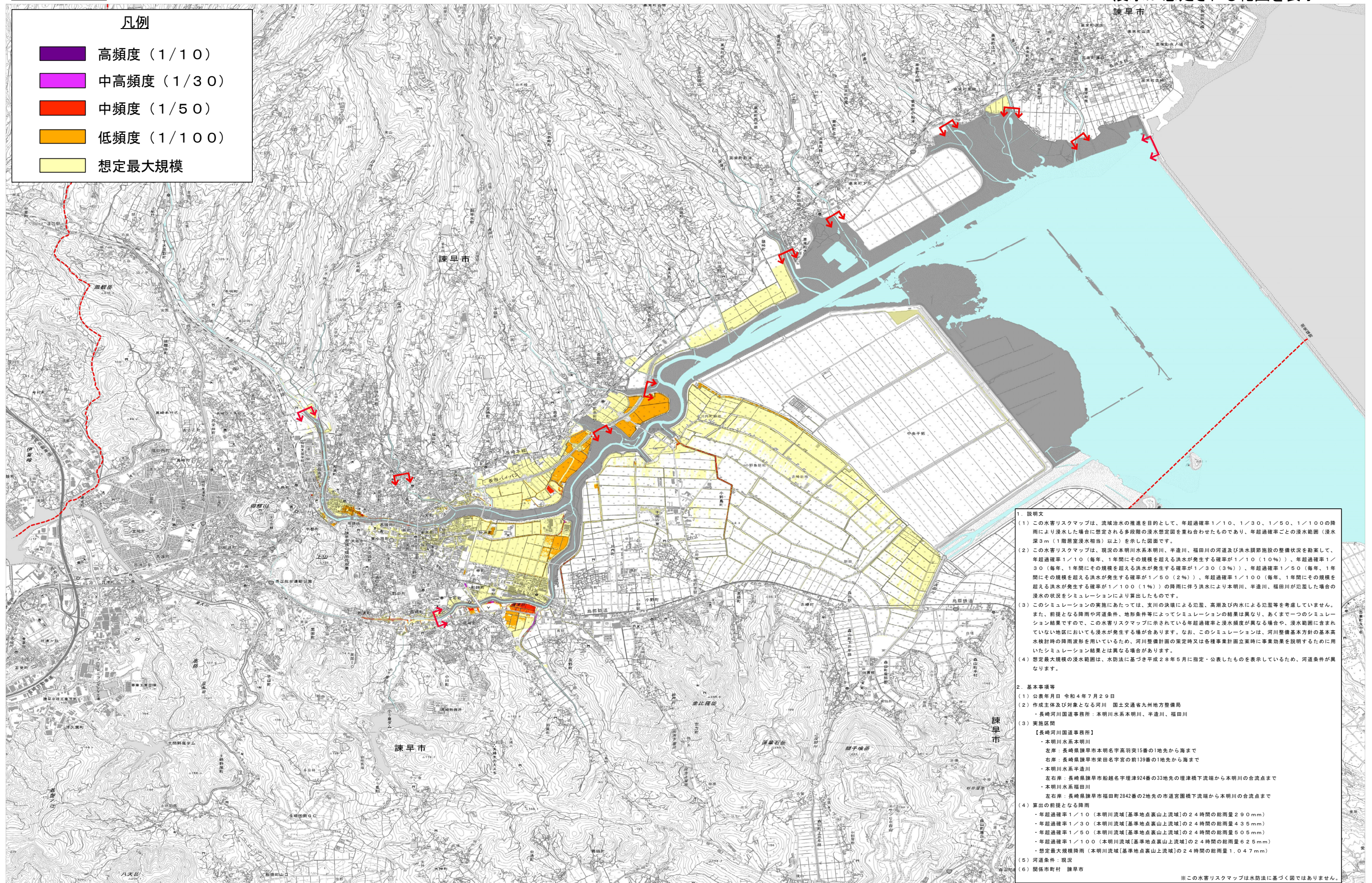
【現況河道】

浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の
浸水が想定される範囲を表示

暫定版

凡例

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 低頻度 (1/100)
- 想定最大規模



1. 説明文
(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。
(2) この水害リスクマップは、現況の本明川水系本明川、半道川、福田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により本明川、半道川、福田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
(4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年5月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
 2. 基本事項等
(1) 公表年月日 令和4年7月29日
(2) 作成主体及び対象となる河川 国土交通省九州地方整備局
・長崎河川国道事務所：本明川水系本明川、半道川、福田川
 3. 実施区間
【長崎河川国道事務所】
・本明川水系本明川
左岸：長崎県諫早市本明名宇高羽突15番の1地先から海まで
右岸：長崎県諫早市栄田名宇宮の前139番の1地先から海まで
・本明川水系半道川
左右岸：長崎県諫早市船越名宇埋津924番の33地先の埋津橋下流端から本明川の合流点まで
・本明川水系福田川
左右岸：長崎県諫早市福田町2842番の2地先の市道宮園橋下流端から本明川の合流点まで
 4. 算出の前提となる降雨
・年超過確率1/10（本明川流域【基準地点裏山上流域】の2.4時間の総雨量2.90mm）
・年超過確率1/30（本明川流域【基準地点裏山上流域】の2.4時間の総雨量4.35mm）
・年超過確率1/50（本明川流域【基準地点裏山上流域】の2.4時間の総雨量6.05mm）
・年超過確率1/100（本明川流域【基準地点裏山上流域】の2.4時間の総雨量6.25mm）
・想定最大規模降雨（本明川流域【基準地点裏山上流域】の2.4時間の総雨量1,047mm）
 5. 河道条件：現況
 6. 関係市町村 諫早市
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。